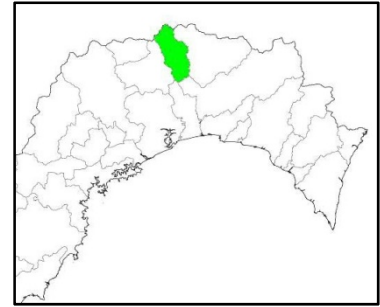


本山町森林組合の取組の概要

1. 地域林業の概要

本山町森林組合が所在する高知県本山町は、高知県の北部に位置し、森林面積 11,891ha、森林率 88.6%の山村です。人工林率は 75.5%で 9～10 齢級の森林が主体となっています。

本山町を含む吉野川上流域地域は嶺北林業地帯と呼ばれる林業が盛んな地域です。



2. 取組「高密度作業路開設による簡易な搬出間伐事業」(平成 19 年度)

従来の架線集材に代わる簡易な作業システムとして、高密度路網と高性能林業機械を組み合わせ、集材効率及び生産性の向上を期待できる新たな間伐生産システムを試行し、従来の架線系作業システムと比較しました。

新たな作業システムの変更点は以下のとおりとなっています。

- 幅員 3.0m程度の作業路を開設し、路網密度 250m/ha まで高密度化。(従来は 50m/ha)
- 集材・造材工程をチェーンソーからプロセッサに変更。



3. 取組の成果

新しい作業システムを試行した事業対象地は、従来式の架線集材では労働生産性が 1.8～2.3 m³/人日、生産コスト 10,500 円/m³と予想される現場でした。

これに対し、新しい作業システムでは、労働生産性が 6.0m³/人日となり 200%程度増加し、生産コストも 8,600 円/m³と 19%減少しました。



→詳細版はこちら 1(PDF:1,322KB)、2(PDF:1,700KB)